

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)湘南藤沢記念病院計画	階数	地上5F
建設地	神奈川県藤沢市遠藤字打越4430ほか	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	800人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2016年1月15日
敷地面積	30,579 m ²	作成者	株式会社伊藤喜三郎建築研究所
建築面積	3,425 m ²	確認日	2016年2月1日
延床面積	15,113 m ²	確認者	株式会社伊藤喜三郎建築研究所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3のスコア = 3.1</p>

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 2.5</p>	<p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3のスコア = 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>コンパクトな平面計画の採用や建物高さの抑制による既存自然林の保存とそこに棲む生物たちへの配慮、従前から存する水路の保存(切り回し)など、地域性環境に配慮した計画を行う。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>外来待合等の共有部分だけでなく、病室への自然換気も確保している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>維持管理や、将来の機能更新のしやすい計画とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>当該遠藤地区に残る豊かな自然林を残すとともに、建物高さを抑えることで自然林に生息するオオタカに配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>効率のよい設備システムや、運用システムを採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>再生しやすい建材や有害物質を含まない材料を使用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>近隣の渋滞へ配慮した駐車台数確保や車両動線計画、医療系を含む廃棄物処理の計画を立てている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される